

## 複層林の上層木伐採施業について

陸前高田市小友町地内の箱根山市民の森にある複層林展示林で、普及協力員等の協力をいただき、上層木の施業方法等を検討し、上層木を伐採、下層木の損傷状況等を調査しましたので、その概要をお知らせします。

この複層林は平成11年に区域面積0.59㌶で造成したもので、今回はそのうちの0.18㌶で、上層木の施業方法の検討等を行いました。

複層林の現況は、上層木で、平均胸高直径46㍍、平均樹高25㍍、成立本数㌶当り183本、下層木で、平均胸高直径8㍍、平均樹高6㍍、成立本数㌶当り1,822本でした。



複層林の状況

上層木の伐採は、検討段階では、全部伐採する予定でしたが、保安林内での作業のため、択伐施業となり、平均胸高直径43㍍、平均樹高24㍍、12本を伐採し、本数率36㍍、材積率28㍍で実施しました。

伐採方法は、下層木の植え列方向に行い、上層木の樹冠が下層木に極力かからないようにしました。下層木の損傷は、胸高直径8㍍の芯折れ1本だけという結果でした。

振興局では、今後も継続的に施業地のデータ計測を行っていきたいと考えています。



下層木の損傷状況